



# あかねだい

学校便り 10月号

令和元年10月25日  
横浜市立あかね台中学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/akanedai/>



## 学校教育目標 『自らすすんで、学ぶ・鍛える・共に生きる』

1. 生活や学習の基礎基本を通して、主体的に課題を見だし解決する力を身につけた生徒を育てます。【知】
2. 礼儀や規律を大切に、夢や希望、感謝の心をもった生徒を育てます。【徳】
3. 心身共に健康で、自他の生命や自然を尊重する生徒を育てます。【体】
4. 社会の一員としての自覚と責任をもち、よりよい社会を実現しようとする生徒を育てます。【公】
5. 体験を通して自らの可能性を知り、広い視野に立ったものの見方や考え方を身につけた生徒を育てます。【開】

## 一人ひとりが輝いた第9回文化祭

副校長 松本 たか子

9月から10月にかけて、台風の心配が多くあり、あかね台中学校関係者の皆様の中にも被害にあわれた方がいらっしゃるのではないかと心を痛めております。被害にあわれた方には、謹んでお見舞い申し上げます。お体を大切にされ、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

さて、そんな中ではありましたが、「507人のdreamer」をスローガンに、10月17日（木）18日（金）の2日間、あかフェス2019 第9回文化祭が行われました。一日目はハーモニーと迫力の有志合唱、美しさと深みのある音楽部のリコーダー演奏と圧巻の和太鼓の演奏に続き、合唱コンクールが行われ、3年生の発表を見学した田奈小学校と奈良の丘小学校の皆さんが、澄んだ声で「Believe」の合唱を聞かせてくれました。一日目の最後は、吹奏楽部がダイナミックに盛り上げてくれました。二日目は、英語スピーチをはじめ、科学技術部、美術部、各教科等の発表と有志団体や文化祭実行委員、本部役員の皆さんによる様々な発表が行われ、一人ひとりの多様な才能と努力の結晶が、まぶしいほどの光を放った2日間だったと思います。



合唱コンクールを振り返ると、9月27日の相澤先生の課題曲講習会で、歌う姿勢や声の出し方、曲の表現の仕方を次々と吸収し、どんどん上手になっていく様子に大変驚いたものでした。相澤先生の、「オムライスにケチャップを使って細い線で絵を描くように声を出して」や、「身体計測で身長を測る時の姿勢で、肋骨を持ち上げてお腹をへこませる感じ」、また「piano（弱く）で伝えたい言葉がある。（歌で）人に伝えようとするのを忘れてはいけない」などの言葉を受け止め、いつの間にか本質を専門的に身につけ、見事に自分たちの表現にしていたことに、胸が熱くなりました。

当日の発表は、どのクラスも感動的でした。素晴らしいものでした。困難なこともあったかと思いますが、切磋琢磨して技術や心を鍛え、みんなで一つのものを作り上げた経験は、これからの生活に大きな力となることでしょう。支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。今後ともあかね台中学校を、どうぞよろしくお願いいたします。

# あかフェス2019

10月17日・18日

本年度、あかね台中学校文化祭のテーマは「wonder」。そこに参加する全員に対して、「507人の dreamer」というスローガンを掲げて取り組みました。設定は遊園地。ディズニーランドのような華やかなものではなく、ピエロが登場する、少し淋しさのある遊園地……。みんなでその活気を取り戻す！という空間を作り上げました。



初日は有志合唱の綺麗な歌声、音楽部の素敵な演奏、そして和太鼓の披露で迫力のある開幕となりました。その後は、例年通り、2学年・1学年・3学年の順



での合唱コンクール。事前から「今年の3年生は凄い！」という声があがる盛り上がりでした。どのクラスも様々な葛藤を繰り返しながら、とてとても一生懸命に努力して

きました。結果はお聞きの通りです。どの学年もどのクラスが入賞するかわからないほどの僅差の発表でした。もちろん、賞を取ったクラスは盛り上がったでしょうが、この行事の意味はそれだけではありません。ここでその答えを述べることは避けませんが、一人ひとりの「心」が動いたことは間違いのないと思います。



また小学生の合唱の復活や、吹奏楽部の迫力のある演奏は圧巻でした。

2日目。職員合唱で幕開けでした。今年は異例の指揮者です。なんと、前日最優秀賞を取ったクラスの担任の先生。生徒はもちろん、そんな急なことにも対応してしまう黄色学年は凄いです。少し質の低い合唱（笑）の後は、英語のスピーチ。素晴らしい表現力に皆びっくりしました。



そこから1年生バンドをトップバッターに有志発表。どの団体もすべての学校での活動にプラスして、努力があったわけです。それもまた驚きです。



特に後半の3年生のバンド・ダンスは1年生の時からの出場でした。集大成といえるパフォーマンスが会場を一段と盛り上げてくれました。

最後に、文化祭実行委員・生徒会本部役員のみなさんへ、心より感謝します。



一同が大爆笑をさせてもらった、ビデオの企画・みんながキョロキョロして

しまうほどの会場装飾など、本当に素晴らしい文化祭を手がけてくれて、ありがとうございます。

こうして今年も、様々な人の支えや応援により無事に終了することができました。しかし、これが当たり前ではないと思います。開校から考えると学校規模は4クラスの減少です。変わっていくことをマイナスにとらえるのではなく、10年目に向けて新たな何かを探していくことも、とても大切な学びではないでしょうか。

